

大連市政治・経済情勢週報（平成 28 年 2 月 13 日～2 月 19 日）

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所

【政治】

13 日：唐軍書記・肖盛峰市長、市内の除雪実施状況を視察

13 日、唐軍書記及び肖盛峰市長は大連市行政サービスセンターを訪れ、市街地の除雪・交通状況を視察し、春節明けの 14 日に市民の快適な交通が確保されるよう関係各部門に対し指示した。（14 日付大連日報 1 面）

14 日：市党委常務委員会、新年第 1 回目となる集団学習会を開催

14 日、市党委常務委員会は新年第 1 回目となる集団学習会を開催した。学習会のテーマは「サプライ・サイド構造改革」で、賈康・財政部財政科学研究所元所長による報告が行われた。（15 日付大連日報 1 面）

15 日：市政府常務会議開催

15 日、肖盛峰市長の主宰により新年第 1 回目となる市政府常務会議が開催された。会議は「サプライ・サイド構造改革」等の重大な改革問題について研究し、「国家食品安全都市の創建に関する方案」等の議題を審議・採択した。（16 日付大連日報 1 面）

16 日：唐軍書記、金普新区を訪れ調査研究活動を実施

16 日、唐軍書記は金普新区各地を訪れ調査研究活動を実施し、金普新区は模範的作用を発揮し、東北老工業基地の再振興のために更なる貢献を果たしていかなければならないと強調した。（17 日付大連晩報 A02 面）

16 日：市政府、重大政策に対する会計監査に関するテレビ電話会議開催

16 日、遼寧省政府による国家の重大政策に対する会計監査についてのテレビ電話会議を視聴した後、市政府は市の重大政策に対する会計監査に関するテレビ電話会議を開催した。会議上、肖盛峰市長は会計監査制度の重要性を強調し、関係各部門に対し会計監査を着実に実行していくよう要求した。（17 日付大連晩報 A02 面）

18 日：市党委常務委員拡大会議開催

18 日、唐軍書記の主宰により市党委常務委員拡大会議が開催され、「中共中央・国務院による東北地区等老工業基地の全面的振興に関する若干の意見」について学習し、大連市において同政策を如何に実行に移していくかについて意見交換を行った。（19 日付新商報 A08 面）

【経済】

18 日：肖盛峰市長、中国銀行の李軍監事長と会見

18 日、肖盛峰市長は中国銀行の李軍監事長と会見し、双方は金融等の分野における協力について意見を交換した。（19 日付新商報 A08 面）

【社会・文化】

13日：大連周水子国際空港、大雪による欠航相次ぐ

13日、大連周水子国際空港はみぞれや大雪に見舞われ、多くのフライトに2007年以来の大幅な遅延やキャンセルが発生した。当日予定されていたフライト379便のうち311便が欠航となり、乗客約2万人に影響が出た。翌日14日には定期便・振替便等計571便が運航し、1日のフライト数における新記録を更新した。(15日付大連日報3面)

2016年の春節を祝う爆竹の販売数、市内5区において前年比5割以上減

安全生産監督管理局によると、2016年春節期間の市内全域における爆竹の販売数は前年比約2割減の83.745万箱で、市内5区の販売数は前年比5割以上減の3.15万箱となったことがわかった。例年に比べ販売量が減少した背景には、市民の環境保護意識の高まりや安全生産監督管理局が販売者に対して設けた厳しい販売規定などが関連している。(16日付半島晨报A08面)

大連市と煙台を結ぶ海底トンネル建設を推進、完成後の最短所要時間は2時間以内

先日、大連市政府は公式HPにて「環渤海地区合作発展綱要実施方案」を公開した。同方案によれば、大連市は今後大連と煙台を結ぶ全長107キロ、最短所要時間約2時間の海底トンネルの建設を推進していく予定。また、同方案は大連・北京間を直通する高速鉄道の開通も計画しており、直通便が開通すれば、北京までの所要時間は4時間まで短縮される見込み。(18日付半島晨报A03面)

18日：豪華クルーズ船「海洋・神話号」、大連を始発港とする契約を締結

18日、ロイヤル・カリビアンクルーズ旗下の豪華クルーズ船「海洋・神話号」の大連を始発港とする契約の調印式典が開催された。同クルーズ船は今年の7月中旬から8月初旬にかけ、大連に寄航又は大連を始発港とする5路線を就航する予定。(19日付半島晨报A03面)

(注) 2月13日～2月19日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。